

合、または、培養細胞が病態モデルとならない場合のモデル細胞となりうる。一方で、手術検体は、多様な組織から構成されているため、多くの細胞が混ざり合っているため、目的の細胞群を分取することが困難な場合もある。

本年度は、手術に伴い摘出される関節リウマチ患者由来の滑膜組織より滑膜細胞をプライマリーカルチャーする方法を確立したので発表・報告します。

問い合わせ先：marlin@tokyo-med.ac.jp（中島利博）  
fujitam@tokyo-med.ac.jp（藤田英俊）

### P3-56.

#### In-Fusion クローニング法を用いた遺伝子クローニング手法の確立

（大学：医学総合研究所）

○河西 智子、藤田 英俊、荒谷 聡子  
平津 恵美、中村 香織、佐藤 永一  
西岡久寿樹、中島 利博

（大学：未来医科学研究寄附講座）

藤田 英俊、荒谷 聡子、中島 利博

臨床共同研究センターは、基礎と臨床の橋渡し研究の拠点として、臨床医の先生方の基礎研究をサポートするために設立されました。分子生物・細胞部門では、主に、遺伝子のクローニングなどの分子生物学的手法、プライマリーカルチャーや培養細胞を用いた細胞生物学的手法、大腸菌等を用いたタンパク精製などの生化学的手法、さらには、フローサイトメトリーを用いた細胞の分画・解析において、基盤技術の確立を行うとともに、様々な受託サービスを展開させていきたいと考えています。

本年度は、In-Fusion クローニング法を用いた遺伝子クローニング手法を確立するための基礎研究をおこなっています。この手法を用いると、任意のベクターの任意の位置に遺伝子のクローニングが可能となるため、受託サービスが行いやすいと考えられます。

問い合わせ先：marlin@tokyo-med.ac.jp（中島利博）  
fujitam@tokyo-med.ac.jp（藤田英俊）

### P3-57.

#### フローサイトメトリーを用いた細胞の分画・解析手法の確立

（大学：医学総合研究所）

○中村 香織、藤田 英俊、荒谷 聡子  
平津 恵美、河西 智子、佐藤 永一  
西岡久寿樹、中島 利博

（大学：未来医科学研究寄附講座）

藤田 英俊、荒谷 聡子、中島 利博

フローサイトメトリーは、細胞などの粒子1個ずつを、大きさや密度などの情報、または、DNA/RNA、タンパクなどの蛍光染色の情報をもとにして、細胞や細菌などの特性を1個ずつ、迅速かつ高感度に測定する方法である。フローサイトメーターによる解析では、短時間に多くの細胞数を客観的に測定でき、かつ、高感度・高再現性であるとともに、特定の細胞を高速にソーティング（分取）が可能となっている。臨床共同研究センターではフローサイトメーターを用いた細胞の分画・解析において、基盤技術の確立を行うとともに、様々な受託サービスを展開させていきたいと考えています。

本年度は、フローサイトメトリーを用いた細胞の分画・解析について発表・報告します。

問い合わせ先：marlin@tokyo-med.ac.jp（中島利博）  
fujitam@tokyo-med.ac.jp（藤田英俊）